

さくら組だより 3月

つい先日年が明けたと思ったら、もう3月。年が明けると本当に毎日があっという間に過ぎていきますね。先日は成長展に足を運んでいただきありがとうございました。改めてこの1年間、色々な人との関わりの中で大きく成長した子どもたちの姿を見て、喜びや驚きを感じていただけたことと思います。

乳児組から幼児組になり、戸惑いやつまずき、思い通りにならないもどかしさの中からたくさんのことを学び、本当に大きくたくましく成長した子どもたちと一緒に過ごした1年間は私にとっても大切な時間となりました。さくら組で過ごす残りの日々も子どもたちと楽しく、1日1日を大切に過ごしていきたいと思います。

今月の目標

- ・感謝の気持ちを持ち、言葉で伝えられるようにする
- ・進級に向けて期待をもって生活する

子どもたちの様子

ピアノの練習を始めました

ホースのネーム入れのご協力ありがとうございました。少しずつ練習を始めています。「いつやるの?」と楽しみにしていた子どもたち。クラスでのお約束「お話を聞く時には音を出さない」をしっかり守ってくれています。ドレミの指使いは、指が一本にならないようにお父さん指、お母さん指、お兄さん指で弾けるよう練習中です。どんどん先を弾きたくなくなってしまいう子もいますが、みんなで合わせることを大切に、ゆっくり進めています。

ひばい組進級に向けて

成長展も終わり、進級に向けて新しい環境になれるためにロッカーの場所が変わりました。流れがいつもと違うのですし戸惑いも見られましたが、すみれ組（新さくら組さん）と一緒にロッカーになり、お世話心も湧いてきているようです。よりお兄さんお姉さん度が増し、頼もしいです。朝の支度、身の回り品の管理など、自立に向けて自分でできるようにお家の方もお声掛けしていただけたらと思います。

～子どもたちの可能性を信じて、完璧を求めない子育て～

いつでもちゃんとしていなきゃと思っていたり、ちゃんとしているのが偉いと思っている子どもの様子を見かけます。お友だちにやさしくて、先生の言うことを聞いていることがいつでも正しいわけではないと思います。時には忘れ物をして困る経験や、調子に乗って怒られたり、わがママを言うことも子どもには必要なことです。いけないこと、困ったことがあったら、そのあとどうしたらいいかを自分で考えたり、周りの人とどう関わっていけばいいのか知っていく方がこれから先の子どもたちの人生に必要なことではないかと思っています。

子どもは子どもらしく、子どもだからこそできる経験をたくさんしてほしいです。そして、良いことか悪いことか自分で考えられるようになってほしいです。先生たちに迷惑がかかる…なんてことはありません。子どもは子どもらしく、大人の顔色をうかがわず、のびのびと育ててほしいと思っています。

大人も子どもも完璧を求めず、頑張りすぎず、子どもの成長を楽しみましょう！

最後に、至らないところもたくさんあったかと思いますが、さくら組15人の保育園の母になったつもりで過ごしたこの1年、子どもたちにいろいろと教えてもらいました。元気な子どもたちと、保護者皆さんのあたたかなご協力にたくさん助けられた1年でした。本当にありがとうございました。